



ほけんだより 9月号



令和7年9月1日
つくばさくら保育園
看護師 菊池

暑さもようやくひと段落し、朝夕の風には秋の気配が感じられるようになって来ました。
1日のうちで気温差が大きくなるこの時期は体調をくずしやすい時でもあることから、毎日の体調の変化に注意が必要です。

さて、夏をすぎ、ひと回り大きくたくましくなった子どもたちですがそろそろ夏の疲れが出て来る頃でもあります。十分な休息と食事に心掛け、規則正しい睡眠をとる様にしましょう。

そして自然の変化を感じつつ、すぐそこまで来ている実りの秋をみんなで迎えたいところです。

園長



8月の欠席者情報

溶連菌等の夏の風邪が数名みられました。まだ園での流行はありませんが、リンゴ病や百日咳の感染症が流行しています。気になる症状がある場合には早めの病院受診をお願いします。

10月定期検診についてのお知らせ

- ・尿検査(10月9日)
- ・内科検診(10月15日)
- ・歯科検診(10月17日)

*日程は予定のため、変更となる場合があります。時間は後日お知らせします。

これで安心!

ちょっとした けがのケア

元気な子どもは小さなすり傷や切り傷が得意です。

化膿させずに治す方法を知っておきましょう。



ウェットタイプの絆創膏は
使い方をチェック!

モイストタイプ(ハイドロコロ
イド素材)の絆創膏は、2歳以下の
子どもには使えません。使用上の
注意を守って使いましょう。

① 手当てする大人がまず手を洗う

手から汚れがうつるのを防ぎます。

② 傷口を流水で洗う

流水で傷口をやさしく洗い、泥や砂などを
取り除きます。とげなどが刺さっているとき
は、毛抜きで抜き取ってから流水で傷を洗い
ましょう。

③ 傷口を保護する

絆創膏やガーゼなどで傷口を覆います。絆
創膏は毎日交換して、傷の治り具合をチェッ
クしましょう。

傷口の汚れやとげなどが取り除けない、
傷がなかなか治らないときは、病院へ!

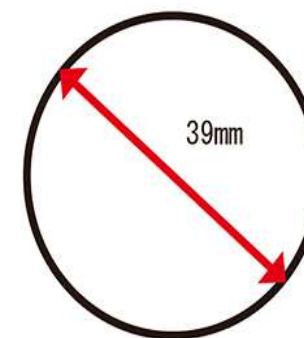
家の中の事故を防ぎましょう

9月9日は「救急の日」です。

救急とは、急なけがや体調不良の手当てをすること。
この機会に、けがを防ぐために気をつけることをご
家庭で話し合ってみてください。

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、じつ
は事故の危険の高い場所だということをご存じで
しょうか? 0~6歳の子どもの事故の約40%は、
家の中で起こっています。

家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命に
かわるのが、窒息です。0歳児が圧倒的に多いも
の、1歳児、2歳児でもゼ口ではありません。家
の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェッ
クしてください。



小さいものはしっかり管理

3歳の子どもの口の大きさは約4cm。これ
より小さなものは、子どもの手の届かないと
ころに保管しましょう。ボタン電池、ナッツ
類、たばこ、薬など、身近なものでも飲み込
むと危険なものはたくさんあります。

リビングなど



ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこ
を飲み込んだりといった事故がよくあります。

キッチン



炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけ
が多い場所。

浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離した
すきにおぼれるなど、水の事故の危険があります。

ベランダ



台などに上って手すりを超える事故が、3歳以
降急増します。危険なものがないかチェックしま
しょう。